令和8年度　地域福祉懇談会　日程調べ

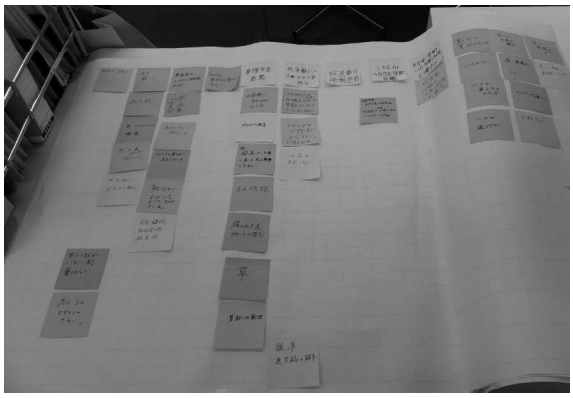
	地区名	日程	参加者予定	テーマ
1	豊　岡	11月17日(火) 午後7時～	民生委員、福祉委員、自治会長、地域づくり協議会福祉部、行政、包括、市社協、など	未定(6/24の福祉委員と民生委員との懇談会の課題から抽出)
2	岩　田	未定	民生委員、福祉委員、自治会長、地域づくり協議会福祉部、行政、包括、市社協、など	未定(10月に地域福祉について勉強会を実施し、その後懇談会へ)
3	向　笠	9月25日(金) 午後7時～	民生委員、福祉委員、自治会長、地域づくり協議会福祉部、行政、包括、市社協、など	検討中
4	大　藤	7月～8月 各自治会単位で開催	民生委員、福祉委員、自治会長、地域づくり協議会福祉部、行政、包括、市社協、など	
5	見　付	8月30日(日) 午後1時30分～	民生委員、福祉委員、自治会長、地域づくり協議会福祉部、行政、包括、市社協、など	講演「今求められる地域の福祉とは」、講演後、グループワーク
6	今之浦	9月8日(火) 午前11時半～	地域づくり協議会自治会活動部、福祉活動部(福祉委員・てまり会・民生委員)行政、包括、市社協など	未定(地区長と検討中)
7	中　泉	8月30日(日) 午後1時30分～	民生委員、福祉委員、自治会長、地域づくり協議会福祉部、行政、包括、市社協、など	「見守り・ささえ合い～小地域福祉ネットワーク活動の推進のために～」
8	西　貝	8月23日(日) 午前10～正午	民生委員、福祉委員、地域づくり協議会福祉部、行政、包括、市社協、など	サロン・シニアクラブなどの地域活動が活性化するには
9	田　原	全住民アンケートの実施		
10	南御厨	7月18日(土) 午前9時30分～	福祉部役員、民生委員、福祉委員、応援倶楽部CN、もろこ号・配食ボランティア、行政、包括、市社協など	地域活動の協力者を増やすためには
11	御　厨	9月13日(日) 午前9時～	地域福祉部会役員、中高生、 行政、包括、市社協	誰もが安心して暮らすためには
12	豊田東	8月2日(日)	民生委員、福祉委員、地域づくり協議会福祉部、行政、包括、市社協、など	住みやすいまちづくりするには
13	富　岡	6月7日(日)	民生委員、福祉委員、地域づくり協議会福祉部、行政、包括、市社協、など	今後の地域福祉活動を考えよう
14	池　田	8月30日(日)	民生委員、福祉委員、地域づくり協議会福祉部、行政、包括、市社協、など	検討中
15	井　通	7月15日(水) 午後7時～	福祉委員、民生委員(役員)、地域づくり協議会福祉部、サロン代表者、SOK支援員、行政、包括、市社協	「交流・健康・見守り」をキーワードに、「近所の力」や見守りの方法、工夫を考えよう
16	青　城	7月9日(木) 午後7時～	民生委員、福祉委員、青城地区福祉施設職員、まちづくり協議会福祉部、行政、包括、市社協	今とこれからの青城地区を考えよう
17	長　野	10月31日(土)	自治会長、民生委員、福祉委員、地域づくり協議会福祉部、行政、包括、市社協、居宅、訪看など	
18	南	6月17日(水) 午後7時～	地区社協、民生委員、福祉委員、行政、包括、市社協	広域の居場所を考えよう
19	竜　洋	8月19日(水)・21日 (金)午後7時～	地区社協、民生委員、福祉委員、行政、包括、市社協	地域資源を探そう・話そう
20	福　田	7月26日(日) 10時～11時45分	福田地区民生委員児童委員、福田地区福祉委員、ふくでの福祉を推進する会、行政(福祉政策課、自治デザイン課、健康増進課)、福田包括、市社協	福田地区の課題について話し合おう

地域福祉懇談会の報告

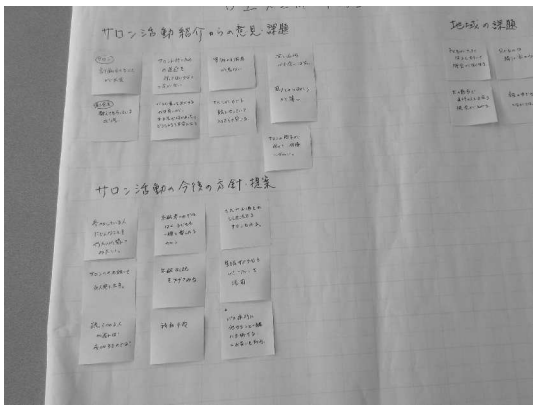
１．話合いの方法

多くの地区が付箋を用いたKJ法で実施、参加者全員から意見集約を行っている。

《福田地区の様子》



《南地区の様子》



２．報告書

①テーマ・目的　参加者

②話合いの内容

ａあがった意見・課題（地区の強み・弱み印象に残った意見）

ｂ今後の活動方針・提案（支え合いのアイデア）

③市全体に共通する課題

《富岡地区の報告》

富岡地区　懇談会　報告書

開催日	令和８年６月７日(日)　14時10分　～　15時15分
会　場	富岡交流センター　講堂
テーマ・目的	住みやすい富岡地区を目指して！ ①　福祉部会の現状の取組みを発信する。 ②　不足する社会資源を洗い出し、社会資源を known の活動のヒントとする。 ③　「地域福祉活動計画」に懇談会の意見を取り入れる。
参加者	26人 報告：富岡福祉課、自治デザイン課、富田地区包括支援センター、市社協 （内訳） ・地域づくり協議会、自治会役員等　５人・地域づくり協議会福祉部（地区社協）　２人 ・民生委員・児童委員　５人　・福祉委員　６人・交流センター職員　２人 ・行政　３人　・地域包括支援センター　２人　・市社協　１人

話合いの内容

あがった意見や課題 地区の強み・弱み 印象に残った意見等	地区の強み） ・住民同士が思ったことを言い合える。 ・住民同士のつながりがある。 ・住んでいる住民が高齢な人口で、お互いが話しやすい。 ・自治会行事に参加する意識が高い。 ・サロン活動がしっかりしている。 ・サロンボランティアを始め、福祉部会の活動に出席率が高い。 ・「古くからいる人」「新しく来た人」を区別することがない。 ・福祉施設、病院が身近にあり便利である。 ・農業を営む家庭が多く、食糧の不在の家が少ない。 ・まじめで親切に人が多い。 ・協力しあう心がある。 ・地域住民の顔が見えており、困住地の様子がよく分かる。 ・地域活動が活かんである。 ・市内５つの高校へ自転車で通学できる。 地区の弱み） ・高齢者など車がない人が多々おり、買物などをするときに不便。 ・車に乗れない人もいる、公共交通がない。 ・商店が少ない。 ・70代以上の高齢者が多く、若者が少ない。 ・新しい住宅が増え、知らない人が増えている。 ・地域の活動に全員を巻き込んでいない。 ・積極的に前に出て、活動を引っぱっていく人が少ない。
	・新しい人が増えたことで、お互いに知らない人が増えている。 ・商店、スーパー、飲食店、銀行が少ない。 ・自治会活動に差がある。 ・コロナ禍以降のつながりの薄さが目立っている。 ・通学路に車が多く、渋滞に影響が出ている。
今後の活動方針・提案 支え合いアイデア等	・雑草が多いため、大人も子供も老人も全員で草刈りボランティアする。 ・新年会、忘年会を皆でやりたい。 ・高齢者や子供の居場所として公会堂の活用、または公会堂以外の活用を考えるとよい。 ・放課後の子供たちのコミュニティを通むような施点があるとよい。 ・少子化対策の更なる強化ができる活動があるとよい。 ・高齢者や子供たちがいつでも気軽に行ける居場所がほしい。 ・300円位で食事を食べることができ、気軽に集れる場所があるとよい。 ・大人版 こども食堂が地域にあるとよい。 ・移動販売車が頻繁まわって、特にお年寄りが自由に買い物できるよい。 ・お手伝いサービスの創設(ゴミ出し、草取り、そうじなど)。 ・中学生を中心とし、地域の住民がお年寄りへの訪問し交流する (介護施設や障がい者施設など) ・スマホやインターネット等の使い方を教えてもらいたい。 ・若者達に出合いの場所を提供する(居酒や店)活動。 ・地元自治会にサロンがないので、あるとよい。 ・移動サロンなど、工夫したサロン活動を考えてもよい。 ・家から外出しない高齢者をサークル等に参加させる取り組みを考えてもらいたい。 ・子供会活動が少ない。 ・小さな自治会は自治会長のなり手がなく、かつ役員のなり手がない。 ・ボランティアが少ないので、気軽に活動ができる地域になるとよい。 ・活動するにも役員等の人材、担い手不足であり、活動が充実しない。 ・最新情報を取得できる仕組みがあるとよい。 ・一人ぐらしの災害時の様助システムが構築されているとよい。 ・野菜フリーマーケットを始めるとよい。 ・スクールバスの空き時間を高齢者の通院に活用するとよい。
市全体に共通する課題	・買い物に出かける手段のない高齢者が多く、身近に買い物できる手段があるとよい。 ・自治会活動、地域づくり協議会活動の担い手不足である。 ・高齢者、若者問わず、気軽に立ち寄りができる居場所があるとよい。

※当日の次第・資料等１部、写真等添付し　　月末までに担当課へ提出
※記載量に応じて追加用紙を付けて記載する（最大２ページ以内）